

様式第2号（第10条関係）

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和2年度 第1回佐伯市自殺対策連絡協議会

2 開催日時

令和2年7月30日(木) 14時00分から15時10分

3 開催の場所

佐伯市役所本庁舎6階 大会議室

4 出席者

・委員 16人

会長	清家 文明	副会長	池田 裕美	委員	西山 巖
委員	下川 芳夫	委員	廣瀬 就信	委員	仲矢 和雅
委員	柴田 健一	委員	高橋 普佐恵	委員	佐野 智子
委員	田中 生代	委員	佐藤 俊子	委員	渡邊 和彦
委員	清家 和彦	委員	川野 登志郎	委員	亀井 直美
委員	水口 順二				

・代理出席 2人

・事務局 4人

5 会議の公開又は非公開の別

公開

6 傍聴人数

0人

7 議題及び結果

議題

(1) 異動・退任に伴う委嘱状交付および会長・副会長選任

(2) いのちを支える佐伯市自殺対策計画の進捗報告

結果

(1) について、委員による互選の推薦はなし。新会長を佐伯市社会福祉協議会 常務理事 清家文明氏、副会長を大分県南部保健所 池田裕美氏で承認された。

(2) について、前年度の佐伯市自殺対策連絡協議会の経過、普及啓発のためのパンフレット配布状況、SOS の出し方に関する授業、自殺対策に係るスタッフの研修について、報告を行った。

SOS の出し方に関する授業について、学校教育課より、児童・生徒が困難や精神的負担を感じたときの対処の仕方を学ぶ授業を全小・中学校で年 1 回開催とし、現状調査は今後把握予定であること、こころの問題に対しては、地域・保護者・学校で連携をした取組を推進していきたいと報告があった。

自殺対策に係るスタッフの研修について、障がい福祉課より、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、労働環境や生活環境が不安定になることが考えられ、自殺の危険性が高まると予測されると説明があった。そこで自殺の危険性が高い方を早期に発見（気づき）し、適切な支援に確実につなげるために地域福祉・地域医療を担当する福祉保健部職員に研修を行う予定であると報告があった。

8 審議の内容

こころの体温計について説明を行った。委員より、いつからあるものか、取り入れた経緯など質問があった。導入している市町村は大分市、宇佐市、国東市、豊後高田市。大分市は、H29 自殺対策計画が策定され協議会で若年層の啓発として取組を開始し、国東市は、大分市と同様。宇佐市は、H27 に協議会員の紹介から開始していた。取り入れた自治体の使用状況として、大分市は対象を 10・20 代であったが、実際は 30 代以上の男性が多く、国東市は、30・40 代の女性が多く、宇佐市は 40 代以上の女性が多いと報告があった。委員からは、簡単にストレスチェックができるので取り入れて良いと思う、SNS 等の情報媒体を利用できない人もいることを知って欲しい、などの意見があった。これらの意見等を整理し、目的・対象を明確にし、その結果、成果が見えやすくなる方法で導入していく。

またいのちを支える相談窓口について、どのような形で周知が可能か話し合った。媒体として長く活用できる工夫を行うようにと意見があった。

9 会議の資料名一覧

- ・令和 2 年度佐伯市自殺対策連絡協議会
- ・自死関連事案当番弁護士制度、夏季こども特別拡大相談会、ふくろん先生の悩み相談についての案内資料
- ・佐伯市相談窓口一覧（案）
- ・こころの体温計本人モード結果例

10 問い合わせ先

担当課 福祉保健部 障がい福祉課 障がい福祉係
電 話 22-4524